

当院のシンボルマークは、患者さまに対する「まごころ」を漢字の「心」で表現しています。

# まごころ

MAGOKORO



地方独立行政法人

## 下関市立市民病院

SHIMONOSEKI CITY HOSPITAL

2013年 創刊号 vol.01



▲患者さまを中心に、医師、看護師、医療従事者、事務職などが一体となったチーム医療を提供しています。

### 特集 地方独立行政法人化から1年。下関市立市民病院のこれから

お知らせ 新任医師紹介

地域がん診療連携拠点病院とは

連載エッセイ 看護部

もっと知りたい 薬局 薬剤師

地域の絆 (いとう脳神経外科・外科クリニック、吉本医院)

2013.05.15 下関市立市民病院広報年報委員会発行

# 地方独立行政法人化 から1年、下関市立 市民病院のこれから

平成24年4月1日、抜けるような青空の下にスタートした地方独立行政法人下関市立市民病院は、ちょうど丸1年が経過しました。看護師不足による6階西病棟の休止や、緩和の気配が見られない医師不足など、病院を取り巻く経営環境が非常に厳しい中の船出でありました。

『市民病院は変わったよ』という院外からの声が聞こえ始めたのは夏の初めの頃でした。行き帰りの挨拶の声に元気が感じられ、いろいろな院内会合への出席者数が増えてきました。看護師採用試験の受験者数も多くなり、夏過ぎからは入院患者数の増加が続くようになりました。病院収入も前年度比6%増となりました。法人化の目的の一つに「働きやすい、働き甲斐のある職場づくり」

を掲げ、病院職員一人ひとりが市民病院は「自分たちの病院」だと思える職場づくりを目指してきたものとして、確かな手ごたえを感じた1年でありました。また、これまでの自治体立病院としてのいろいろな問題点が表に出た1年でもあったように思います。

\*

市民病院は2年目の歩みを始めました。医業収益は若干増えましたが、法人化による経費の増加により、病院経営はまだまだ厳しい状況であります。しかしながら、1年目に準備を始めたことが着実に進んでいるように思われます。救急科の新設により救急受け入れ患者は増加し、平成26年度にはDPC対象病院へ移行する準備を進めています。7対1看護



法人化1周年記念事業を  
開催します。

## ●記念講演

# 「病院と ホスピタリティ」

**日時** 2013年6月8日(土)  
13:30～15:30(開場13:00)

**会場** 海峡メッセ下関(山口県国際総合センター)  
10階 国際会議場  
(下関市豊前田町三丁目3-1)

**講師** 高野 登 氏  
人とホスピタリティ  
研究所代表



**入場** 無料  
※当日先着200名  
※申し込みは不要です。

## ●市民の保健室

**内容** 看護師による血圧測定・  
健康相談、写真展など

**時間** 12:00～

## お問い合わせ先

事務部経営企画グループ  
Tel: 083-231-4111 (代)

どなたでも参加できます。皆さまのご  
参加をお待ちしています。

## 小柳 信洋

地方独立行政法人  
下関市立市民病院  
理事長



体制への移行のため看護師も順調に  
増え、緩和ケア病棟や透析センター、  
外来化学療法室を兼ね備えた地域医  
療センター(仮称)の建設も決まっ  
ています。医師の給与制度改革にも  
取り組みます。24年度に4億円を掛  
けた医療機器購入投資は、今後も毎  
年2億円の投資を継続します。細か  
いところですが、クレジットカード  
による医療費の支払いがこの3月か  
ら可能になりましたし、院内売店も  
7月よりコンビニ化することが決定  
しておりますので、患者さまや職員  
にも大変便利になると思います。  
\*

法人化1年目で種をまいたものが  
芽を出し始めています。この芽がや  
がて花開き実を結ぶかどうかは今年  
にかかっています。市民の皆様が『市  
民病院に来てよかった』と思えるよ  
うに、基本理念である「安心の優し  
い医療を提供し、市民から信頼され  
る病院」を目指して職員一同、今の  
努力を継続していきたいと思えます。  
これからの下関市立市民病院に、  
ご期待下さい。

理事長 小柳 信洋

## 基本理念

安心の優しい医療を提供し、市民から信頼される  
病院を目指します。

## 基本方針

- ・市民のニーズに応じた最善の医療を提供します。
- ・重点診療項目として、悪性疾患、救急及び生活習慣病に取り組みます。
- ・安定した健全な病院経営を目指します。

## 地域がん診療連携拠点病院とは

当院は平成18年8月に厚生労働大臣より「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。その役割は、わが国に多いがん（肺・胃・大腸・肝臓・乳がん等）について、継続的に全人的な質の高いがん医療を提供する体制を確保するとともに、地域の医療機関と緊密な連携を図り、地域におけるがん診療に従事する医師等に対する研修の機会を提供し、必要ながん診療に関する情報提供を行うことにより、2次医療圏におけるがん医療水準の向上に資することです。

### ■がんに関する集学的治療

当院でがん治療を受けられる患者さまに対し、各診療部門の関係医師が集まり治療方針を検討するカンファレンス（検討会）を行い、患者さまにあった最良の治療計画を立てています。外科的治療、化学療法、放射線治療、その組み合わせによる集学的治療を実施し、退院後の治療計画や生活支援については、院内の医師、病棟スタッフ、コメディカル、医療ソーシャルワーカー（MSW）、外部からは訪問看護ステーションや介護関係のスタッフにもカ

ンファレンスにご参加いただき、患者さまが1日でも早く安心して社会復帰できるよう努めています。

### ■がん治療に係る設備

放射線治療（IGRT）装置（下写真）の導入で、治療の正確さでは県内トップレベルです。放射線治療は常勤の女性放射線治療専門医が行います。外来化学療法室は1階に設置し患者さまがリラックスして治療を受けられるように配慮しています。1月からは外来化学療法カンファレンス、外来化学療法専任医制を導入しました。医師・薬剤師・看護師（認定看護師6名を含む）・臨床検査技師・MSWで構成、多職種チーム医療を実践しています。血液疾患の治療のための無菌室を設置し、長年の懸案であった敷地内禁煙は本年7月から実施します。



### ■緩和ケアの提供

緩和ケア外来を設置し、患者さま、ご家族の体や心の痛みや経済的な不安などを解消するために、緩和ケア専門医・認定看護師、病棟スタッフ、MSWを中心にカンファレンスを行い、少しでも痛みや不安を和らげるために検討しています。精神症状は市内の精神科医師に専門的な視点からアドバイスを受け、精神症状の緩和に効果を得ています。

### ■その他

- 地域の医療機関との連携
- がん医療に関する専門的な知識・技能を有する医療スタッフの配置
- 各種がん研修会の開催
- がんに関する相談：がん相談室を設置
- がんに関する臨床研究等の実施

当院では地域がん診療連携拠点病院として、さまざまな取り組みを行っています。今後も、がん医療発展のために努力していきます。がんに関する各種情報は、当広報紙「まごころ」で連載し、毎号発信していきます。

【副院長 前田 博敬】

## 【連載エッセイ】

# 看護部

## 笑顔ある職場づくりを

このたび、看護部長に就任しました湯本と申します。新体制が果たしたばかりですが、その責任の重さを日々痛感しております。

さて、平成25年度は、看護部のメンバーが大幅に変わりました。看護部長、副看護部長2名、師長7名が新しく就任し、新採用者19名も加わりました。「安心の優しい医療を提供し、市民から信頼される病院を目指します」の病院理念のもと看護師全員力を合わせて努めてまいります。

今年度の看護部の目標は『笑顔ある職場づくり』としました。患者さまにいつも笑顔で接し看護が提供できること、看護師にとって良い職場環境であることを目指し、この目標に決めました。

昨年より地方独立行政法人となり、看護部も少しずつ変わろうとしています。職場に潤いを



看護部長  
**湯本 ひとみ**  
看護のことで不安なことは  
ご相談ください。

と始めた季節ごとの飾り付け、生け花について、患者さまから「病院の所々に飾られている季節のお花に病心、身体を癒されます。いつもありがとうございます。」と嬉しいお言葉を頂きました。4月には、玄関前に職員ボランティアが植えたチューリップが美しく咲き、病院へ来る方や職員の目を楽しませました。接遇についても取り組んでいます。少しずつお褒めの言葉をいただけるようになってきました。まだお叱りの言葉もありません。そのお言葉をしっかりと受け止めた上で、私たち一人ひとりが意識を変え、前に進まないといけないと思っています。

新しい風を吹かせ、いつも元氣な看護部を目指します。今後とも、よろしく願います。



2013年4月、17人の医師が着任しました。よろしくお願いいたします。



消化器内科

まつの ゆういち  
**松野 雄一** 医師



消化器内科

くしま まさき  
**具嶋 正樹** 医長



内科

はらだ ゆきこ  
**原田 由紀子** 医師



腎臓内科

おとめ たかおみ  
**乙咩 崇臣** 医師



腎臓内科

たなか ひろすみ  
**田中 洋澄** 医師



救急科

まつだ りょうた  
**松田 諒太** 医師



外科

あんどう ようへい  
**安藤 陽平** 医師



外科

もちどめ なおき  
**持留 直希** 医師



整形外科

いとう たかひろ  
**伊東 孝浩** 医師



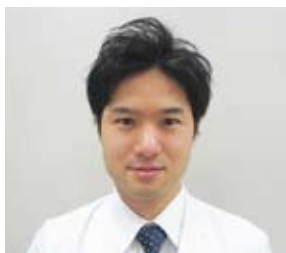
整形外科

とみなが ふゆき  
**富永 冬樹** 医師



整形外科

うえもり ともひこ  
**上森 知彦** 医師



耳鼻咽喉科

さとう まさのぶ  
**佐藤 方宣** 医師



小児科

あずま よしひろ  
**東 良紘** 医師



整形外科

おか わいちろう  
**岡 和一朗** 医師



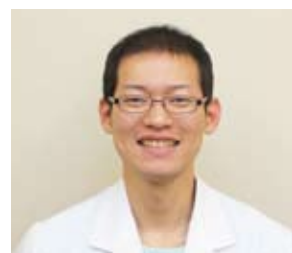
研修医

やりみず あきら  
**鎗水 彰** 医師



研修医

くらみつ まさゆき  
**倉光 正幸** 医師



研修医

ふけ よしふみ  
**浮池 宜史** 医師

当院で働く職員を紹介します。

もっと  
知りたい。



薬局薬剤師 藤川 雄也

薬剤師の仕事の魅力・やりがいを  
教えてください。

次々と新しい薬が誕生し、薬剤師  
になった今も、勉強を続けなければ  
ならないので、自分自身成長できる  
し、飽きることがありません。

患者さまの訴えを聞いて、主治医  
へ処方の方案をして、その患者さま  
の症状が良くなったときは、うれし  
いし、薬剤師という仕事にやりがい  
を感じます。

薬剤師を目指したきっかけを  
教えてください。

はじめは研究者になりたかつ  
たんです。そのためには、薬剤  
師の資格を取得していた方が良  
いと考えて、薬学部に進みまし  
た。大学の実習で、実際に病院  
薬剤師の方の仕事ぶりを拝見す  
る機会があり、薬剤師という仕  
事もいいなと思い、方向転換し  
ました。

これからかなえたい  
夢や目標はありますか。

「がん専門薬剤師」の資格を取得  
したいと思っています。がん専門薬  
剤師とは、がん薬物療法等について  
高度な知識・技術と臨床経験を備え  
る薬剤師が、皆さんの医療・健康・  
福祉に貢献することを目的に設置さ  
れています。下関市立市民病院は、  
「地域がん診療連携拠点病院」とし  
て、質の高いがん医療を提供する病  
院に指定されていますから、がん専  
門薬剤師が活躍する場合は、多いと考  
えています。

市民病院で働いて、「いいが良し所」  
だと思えることを教えてください。

僕は市民病院で働いて4年が経ち



▲趣味は、旅行とドライブという藤川薬剤師。旅行先で  
おいしいものを食べるのも楽しみの一つとか。

ましたが、経験豊富なスタッフが多  
いので、先輩方からいろいろな事  
を教えてもらえるのはありがたいで  
す。服薬指導や無菌調製、抗がん剤  
の調製など、さまざまな経験が積め  
るのも魅力的だと思います。薬学生  
で、就職先を迷っている方は、当院  
へ見学に来てください。病院の雰  
気など、自分の目で確かめていた  
くのが一番です。

また、市民病院の薬剤師として、  
市民の皆さんの支えになることがで  
きることも、この病院で働いてこそ  
だと感じます。下関市で生まれ育っ  
たので、市民の皆さんに少しでも恩  
返しできればと考えています。

病院敷地内  
禁煙を開始  
します。

皆さまのご協力を  
お願いします！



当院ではこれまでも、館内禁煙を  
行い、救急センター出入口口に喫煙  
所を設け、分煙に努めてまいりまし  
たが、受動喫煙を防止する措置とし  
ては不完全でした。

「地域がん診療連携拠点病院」と  
して、患者さまをはじめ、皆さまの  
健康をサポートする観点からも、

平成25年7月1日(月)から

「敷地内禁煙」を

実施いたします。



「病院敷地内」とは、病院建物内  
をはじめ、駐車場等の屋外施設を含  
めた病院の敷地内全てを示します。  
また、患者さまのみならず、ご家族、  
お見舞いの方々、来院者全ての方が  
対象となりますので、皆さまのご理  
解、ご協力をお願いいたします。

# 地域の絆

当院と連携している医療機関等を紹介します。  
当院と連携医療機関は、患者さまの病状に合わせた治療が行えるよう、密接な関係をつくっています。

下関市立市民病院 地域医療連携室  
電話：083-224-3860 FAX：083-224-3861

## いとう脳神経外科・外科クリニック 院長 伊藤 正治 先生

〒750-0075 下関市彦島江の浦町9-3-27 TEL：083-266-2220



旧下関市立中央病院が、下関市立市民病院として再出発して、1年が経ち、この度、2つの広報誌も新しくなり、下関市立市民病院広報誌「まごころ」となり再出発される事を、お慶び申し上げます。

医療は、すべての市民に係りが有り、学問としても広く深く、技術もまた日進月歩の世界です。医療機器もその進化はまさに革新的です。そして、今後、少子高齢化の時代に入ってまいります。医療費の問題も無視は出来ません。同時に病院の経営も重要です。さらに、患者さんの考え方、社会状況、病態も誠に様々です。医療関係者の立場も色々で、突然に医療の選択を求められる市民も居られます。政府にも大きな責任が有るので、国民の意見を聞きながらも、厳しい選択を余儀なくされます。医療には完全は無いとよく言われます。私たちが手探りで医療をしていると言え、意外かもしれませんが、診療所は病院を頼りにしながら、市民の声を聞いて診療を続けています。

しかし、この激しく変化する医療に於いても、赤ひげの昔から変わらず、核心的に大切なものがあり、それが「まごころ」だと思います。医療界の色々な思いを込めて、この言葉が使われた様な気がします。市民病院が、真に市民の為の良い病院に発展される事を祈念しております。



## 吉本医院 院長 吉本 正博 先生

〒750-0041 下関市向洋町 3-12-14 TEL：083-222-9390

下関市立市民病院から徒歩5～10分という至近距離に位置する診療所ということで、市民病院の先生方やスタッフの方々には、日頃から大層御世話になっております。独立行政法人化し、名前も下関市立中央病院から下関市立市民病院と変わったためか、雰囲気明るくなり、スタッフのやる気も増してきたよとの話を良く耳にします。市民病院ですから、市民の生命と健康を守るために、これからも一丸となつてがんばっていただきたいと思ひます。さて、私は日本の大学で最初に総合診療部を立ち上げた川崎医科大学附属病院で、設立早期より総合診療部のスタッフとして学んで参りました。内科学会認定総合内科専門医の資格も、おそらく市内の医師のなかでは最初に（県内では2番目）に取得していると思ひます。多臓器の疾患を併せ持つ高齢者にとって、内科全般を幅広く見ることができる内科開業医（特に総合内科専門医）は、かかりつけ医として最適であると思ひますし、待ち時間が少なく済む診療所を受診することは、仕事等で忙しい現役世代の方にとっても便利だと思ひます。過重労働でお疲れ気味の市民病院の先生方の負担を軽減するためにも、通院は診療所、入院は病院と棲み分けていただけたらと、市民の方々をお願いしたいと思ひています。

# 下関市立市民病院 外来診療のご案内

2013年5月1日現在

診療科	曜日	月	火	水	木	金
内科・消化器内科		王寺 裕/松野 雄一	具嶋 正樹	王寺 裕	具嶋 正樹	松野 雄一
内科・呼吸器内科					米嶋 康臣(九大医師)	
内科・循環器内科		金子 武生(再来のみ) 上田 仁	金子 武生	伊奈 雄二郎	辛島 詠士	金子 武生(再来のみ) 上田 仁
内科・腎臓内科		田中 洋澄	坂井 尚二/乙咩 崇臣	前田 大登/吉水 秋子	坂井 尚二/吉村 潤子	院内紹介のみ
内科・血液内科			久保 安孝			牟田 毅(午前のみ) 久保 安孝
内科 リウマチ膠原病内科		真弓 武仁(再来のみ) 井川 敬		真弓 武仁	井川 敬 糖尿病教室 (第2第4の午後)	真弓 武仁 井川 敬
内科		原田 由紀子				原田 由紀子
糖尿病内科		伊奈 雄二郎(院外紹介)	佐々木 修二(九大医師)	伊奈 雄二郎(院外紹介)		
神経内科						本田 真也
精神科				中津 勇紀		
消化管内視鏡		具嶋 正樹	王寺 裕/松野 雄一	具嶋 正樹	王寺 裕/松野 雄一	王寺 裕
胃透視			王寺 裕(精査)	松野 雄一		具嶋 正樹
心臓血管外科			上野 安孝/恩塚 龍士		上野 安孝/恩塚 龍士	上野 安孝(予約のみ)
外科	午前	篠原 正博 宮竹 英志	井上 政昭/石光 寿幸 中原 千尋	篠原 正博 宮竹 英志	井上 政昭 鈴木 宏往	石光 寿幸 吉田 順一
呼吸器外科	午後		乳腺外来/石光 寿幸		ストーマ外来(第2第4) 篠原 正博	
呼吸器・感染症外来		吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一 院外紹介15時より	吉田 順一 院外紹介15時より
呼吸器腫瘍センター			井上 政昭		井上 政昭/米嶋 康臣(九大医師)	
小児外科		武本 淳吉		武本 淳吉 九大派遣医師(第1・3)		
脳神経外科		中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/尾中 貞夫	中村 隆治/尾中 貞夫		中村 隆治/尾中 貞夫
整形外科	再診	白澤 建藏/原田 岳 伊東 孝浩	渡邊 哲也	山下 彰久 岡 和一郎	原田 岳 富永 冬樹	白澤 建藏/山下 彰久 上森 知彦
泌尿器科	一診(初診)	上森 知彦	原田 岳/伊東 孝浩	白澤 建藏/富永 冬樹	山下 彰久/岡 和一郎	渡邊 哲也
	二診(予約のみ)	吉弘 悟	岸 弓景	吉弘 悟	岸 弓景	吉弘 悟
	尿失禁外来	岸 弓景	吉弘 悟	岸 弓景	吉弘 悟	岸 弓景
眼科		登根 慎治郎	登根 慎治郎 午後~:手術	登根 慎治郎	登根 慎治郎 午後~:手術	登根 慎治郎
放射線診断科			山砥 茂也		山砥 茂也	
放射線治療科		有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子	有賀 美佐子(午前のみ)	有賀 美佐子
小児科	午前	河野 祥二/東 良紘	関 友美	市村 卓也(山大医師)/東 良紘	河原 典子	東 良紘/河野 祥二
	予約制	アレルギー 心身症	永田 良隆(再診)	永田 良隆(新患)	河野 祥二	永田 良隆(再診)
	午後	健診・予防接種 アレルギー 慢性疾患 心身症 神経	河野 祥二/関 友美		河野 祥二/東 良紘	東 良紘/河原 典子
	予約制				大賀 由紀	永田 良隆 河野 祥二
産婦人科	午前	一診 二診	前田 博敬 川崎 憲欣	川崎 憲欣	前田 博敬 川崎 憲欣	前田 博敬 大寺 由佳(九大医師)
	午後	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制) 母親学級(第2・第3)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)	母乳外来(予約制)
疼痛外来	ペインクリニック内科	藤原 義樹	藤原 義樹	藤原 義樹	藤原 義樹	藤原 義樹
術前診察		兒嶋 四郎	平田 孝夫	坂 康雄	兒嶋 四郎	坂 康雄
皮膚科		内田 寛 午後の外来は 13~14時受付	内田 寛	内田 寛 午後の外来は 13~14時受付	内田 寛 午後:手術	内田 寛 午後の外来は 13~14時受付
耳鼻咽喉科		平 俊明 佐藤 方宣	平 俊明/佐藤 方宣 午後:手術	平 俊明/佐藤 方宣 午後:手術	平 俊明 佐藤 方宣	平 俊明/佐藤 方宣 午後:手術
歯科・歯科口腔外科		入学 陽一 高尾 真暢(九州歯科大)	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一/兒玉 正明 笹菜 正明(九州歯科大)	入学 陽一 長畑 佐和子	入学 陽一 坂口 修(九州歯科大)
緩和ケア外来						今村 秀/午前中(予約制)
救急科(午前・午後)		中原 千尋/松田 諒太	中原 千尋/松田 諒太	中原 千尋/松田 諒太	中原 千尋/松田 諒太	中原 千尋/松田 諒太

◆糖尿病教室(内科外来:要予約) 毎月第2・4木曜日15:00~16:00 健康相談室

◆ペースメーカー外来(内科外来:要予約) 毎月第2月曜日13:00~15:00(第2月曜日が休日の場合は第3月曜日)



地方独立行政法人

下関市立市民病院

SHIMONOZEKI CITY HOSPITAL

〒750-8520 下関市向洋町一丁目13番1号

TEL:(083)231-4111(代表) FAX:(083)224-3838

ホームページアドレス <http://shimonosekicity-hosp.jp/>

地域医療連携室(紹介予約) 専用TEL:(083)224-3860 専用FAX:(083)224-3861